

時刻を記載しながら、随時加筆していきます。この内容が、予期せぬトラブルが発生することでインターネットが使えなくなったり、電力供給が途絶えたりすることで充電ができなくなり、最終的にスマートフォンが使えなくなり読めなくなる可能性も考えられます。

Social Producer Shimizu  
2020.04.04.09:28

現時点（2020年4月5日  
AM9:28）で、現状より最悪のケースを想定したものです。決して恐怖を煽るものではなく、もし以下の内容が更に発生した場合を考えた場合に、容易に想像がつくものをいくつ

かまとめたものです。なお一層、対応が非常に難しくなります。

例えば、今日、この後、13時に相模湾と東京湾沖を震源とし大地震が発生するとしたら…。南海トラフ地震が発生するとしたら…。北海道？九州？日本全土？それとも世界のどこか？もちろん、予期せぬ新たな自然災害が発生しなければ新型コロナウイルスだけとの見えない恐怖との戦い、発生したら、目に余る光景のなかで、非常に厳しく、非常に恐ろしい状況に陥ってしまいます。

ただ、今、このメッセージを見ている人は、必ず「未来」があると信じて、冷静な行動をしましょう。小さな子どもたちもいます。生まれたての赤ちゃんもいます。みんなで生き合うことがすべての原点です。未然に想定して、何か少しだけでも対応することができれば、落ち着いて対策していけます。すべての協力が不可欠です。

一つだけ言えることは、電力が使えなくなり、テレビやスマホが使えなければ、政府からの情報が入ってこないため、政府は機能不全に陥り、被災地にとっては不要になるという事実です。現時点で、未然の対策を

しておらず、していたとしても把握できていないので、誰もがどうすることもできなくなり、初動が遅れます。そして、自分と、命ある家族・近隣の人たちと共に、自治をしていくことになるでしょう。その、市区町村単位よりも小さな自治的管理レベルでの備蓄が重要性を増します。

この時、最も大切な幾つかのことがあります。

▼生きるための最適量の食料確保。  
流通を含む。

▼排泄関連の衛生面（汚物処理と臭い対策）。

残念ながら、教育面や嗜好品・エンターテインメントのジャンルは二の次になります。生活基盤を再設定して落ち着いてから復帰対応になります。

しばらくの間、貨幣経済が成立せず、それによって、お金を払ってモノやサービスを買う（価値を交換すること）ことの無意味さを実感することになり、この段階で決定的に、貨幣価値を無くした方がいいと気づく人が大多数になり、改竄や隠蔽や情報操作をされていた「お金」が役目を終え、貨幣経済の終焉を迎えます。

すべての人がお金に執着しなくなることで、正しい価値観が見えてきます。

「こんな状況になるくらいなら、命ある者同士、この地球で生きる、たかだか100年未満の間、お金に縛られることなく、お互いに食えることができ、お互いがそれぞれの価値観で幸せをたくさん感じながら生き合う方がいい！そのために、事前の先行需要把握とそれに対する最適供給調整をした方がいいね！」

という思考になり、これまでの経済活動がスタイルを変え、それと同時に政治による国家単位の世界社会体制から、民衆による地球レベルの世界社会体

制に切り替えることができます。本来の民主主義は、国民の代表を選び・・・ではあったものの、地域的利権、既得権益、選挙制度の異様さもあり、このことがきっかけで社会に生きる民衆による「民主主義」が実現化します。その前提で、住む地域による地理的特性や住民とのコミュニケーションが大切になります。

この時、社会体制の取りまとめは、現行社会で、貧富の両方の経験をしている人だけが、真に公平中立な立場で体制構築のための判断ができます。富裕層の思考だけ・安定した職についている人の思考だけ、不安定な職についている人だけ、貧しすぎ

る人の思考だけ、のいずれの人の思考も、最適な体制を生み出すことはできません。ザ・プレミアムズは、Social Producer Shimizu 自身が、過去の経緯も含め、偶然かつ必然的にその中立性の思考を持つ人に該当するため、新しい社会のポイントとなる内容を導き、すべての人の個性と価値観や信条などを許容しながら、各地域特性に合わせて、すべての人が生きやすい社会を、みんなで築いていきます。独裁を否定することは当然のこと、歩み寄りと前向きさと地球的本来性のもとで判断をしていきます。その思考などを、別地域と共通化させていくことで、効率的な合理性と地域差のある独自性を高めます。



## 【複合的な災害発生を視野に】

新型コロナウイルス感染拡大に加えて、電気・水道・ガスの供給不能、また、ネットワークダウンなどが複合的に発生した場合の緊急体制構築。地震発生の場合の更なる混乱も想定されます。

### ■電力供給停止

▼テレビからの情報シャットアウト  
!!

テレビ広告機能せず。（広告代理店・放送局勤務の人の収益減）

情報が入らない。（現時点で改竄や情報操作されていることも混乱や不安の元。）

▼残りの電池が切れるまでしかスマホが使えない!! スマホはコンセントからの充電が不可能に。

▼冷凍庫・冷蔵庫が使えない!!  
食料保存力の低下。

▼湯沸かし器が着火しない!!  
お風呂が使えない!!

▼クレジットカード決済機能停止!!

現金払いのみ→この時点で貨幣価値の弊害が露呈

(お互いに生き合うために、お金のやり取りをしている場合ではない!!)

▼テレワーク不能!!

▼携帯電話網使用不能

(予備電源を使えたとして、限界あり、復旧できず。時限的利用にするとしてもそれを案内できず。)

▼ネットワークダウン

スマホからの情報取得が不能

!!

スマホ決済も機能停止!!

▼地震発生による道路の寸断、家屋の倒壊、火災発生と延焼!!

▼水道管の亀裂や破損による水道供給不全。

バケツやペットボトルの再利用。

▼新聞社の印刷機が使えず!!

▼緊急避難先の飽和による機能不全!!

食料供給難が発生。

◎問題がない地域の人がいたとしても、問題発生している地域の状況把握ができず、どこに届けたらいいかわからない。届けに来たとしても、最終需要地まで道路があるかわからない。道路に人が溢れかえる可能性が高い。大渋滞による立ち往生なども発生。

そして、結果的に、

→近隣住民、近隣駅住民との連携へ。

→その後は、どこに住むかの重要性を問われる。

各家庭ではなく、複数家族による共同食生活も視野に入れ、合理的に対応していくこととなります。

▼道路は行き交える往路復路の幅を確保。

▼可能なら車の両方向通行ができるように。

▼倒壊地域は、車線数と同じ人が通れるように。

▼備蓄場所の確保と防犯（責任の共有と確認）

▼衛生的な対応（排泄物などの保管）

上述の複合的な災害にならないとして、

【命を守るためにすべき絶対条件】

▼学校の休校と幼稚園・保育園・こども園の無期休園と教育機会のスライド対応。

▼医療従事者の絶対的安全確保。

▼医療機関の体制安定化。

▼生活と食料供給網の再設定

これらは、絶対に有事の前、問題がないときに完璧以上にスタンバイすべきです。

このような事態にならないことを祈りつつ、以下、執筆中です。参考までに。



## ◎被災地では

▼食料供給班、炊き出し準備班、衛生班を大まかに分業。

▼住居地域ブロック毎に相談し、とりまとめて行動。地域代表者 4-6 名程度で、地域分を何回かに分けて手で持ち帰るため。

▼地域代表者が最寄り駅に集合し、駅の東西口または南北口など、それぞれに対応のための体制を構築。最寄りの緊急対応型スーパーマーケットに集合も。

▼必要総量を把握。

▼線路を食料供給のためのライフライン化。（道路網が寸断されている場合。電車が使えるか、使えないか、線路が歩けるか、歩けないかなどによる。倒壊危険性を考慮。電車の走らない夜間時間帯に照明をつけておく。）

▼災害未発生エリアから主要駅へ配達。

各駅停車駅→急行停車駅→特急停車駅の順とし、特急停車駅は飲食店舗が多く存在することから、食料となる米などの備蓄をしておく。万全策ではないが、優先的に。

▼複合的な災害発生 of 未然対策

食料確保・ポータブルガスコン  
ロ・懐中電灯・ろうそく・マッチ・  
紙皿・紙コップ・簡易食器洗わずに  
再利用のためのラップ・水（手洗い  
用・飲料用）・歯磨き粉・歯ブラ  
シ・タオル・排泄物用ビニール袋・  
ウェットティッシュ・電池・スマホ用  
充電機。

つづく